S.P.Vつうしん

発行　スペースパークボランティアの会　広報部会
〒963-8002　郡山市駅前２－11－１　郡山市ふれあい科学館内　TEL 024(936)0201

第７号
平成 17 年 12 月

館のなかで、そとで楽しんでました！！

☆鉄道フェスティバル＆駅前イベント特集☆

寒い季節になってきました。みなさんは体調など崩されてませんでしょうか？今年もいよいよ師走。私たちもこの平成17年にやり残すことがないよう、ますます「気合い」を入れてボランティア活動を楽しんでいきます！私たちＳ.Ｐ.Ｖは科学館内はもちろん、いよいよ今回は郡山駅前や石川町、そして新潟県まで活動を拡大？しました。今号では毎年恒例となりました「鉄道フェスティバル」や、郡山駅前大通りで開催された「駅前大通りエビスコフェスタ」で館を飛び出し楽しんだ様子などをお送りいたします。

今年もバッチリ！鉄道フェスティバル開催！

鉄道ジオラマボランティア

全員笑顔で「ハイポーズ！」

私たち鉄道ジオラマＧ最大のイベント、ＪＲ郡山駅共催「鉄道フェスティバル」が今年もやってきました！10 月８～10 日の３日間、「鉄道の日」にちなんで開催しました。開催４回目の今年は戦後 60 年「郡山駅と空襲」コーナー、鉄道輸送の安全対策を特別企画しました。開催前日にはこの日のために整備した鉄道コレクションや、仙台・福島・いわき等、県内外からの借用品を多数会場に搬入しました。22 階鉄道ジオラマ駅隣に設置したＳＬ汽笛（なんと実物！）吹鳴装置の作動も良好、20 階研修室駅では科学Ｇによる「ジ(THE)転車で GO！（自転車発電)」コーナー、案内Ｇの会場案内等、応援態勢も整いました。開催当日は、旧国鉄の制服で全員笑顔のシュプレヒコール！記念撮影の後、いよいよ活動開始！　「いらっしゃいませ」…案内Ｇの仲間たち。専務車掌さんの「ハイどうぞ」…と板に付いた軽やかな声、パチリ！とキップのモギリ音、会場へ入ると貴重な鉄道遺産が約 150 点展示されています。運転台に座った子ども達は目が輝いて運転士気分、家族と満足気に笑ったときはボランティア冥利に尽きます！特別企画「郡山駅と空襲」コーナーでは 60 年前の郡山駅前がジオラマでリアルに再現、郡山空襲の爆弾破片、軍人手帳等も展示され、当時空襲に遭遇した会員が作った資料を片手に説明しました。鉄道においても苦難の歴史を乗り越え、新幹線に代表される安全と繁栄があることを多くの方に理解していただけたのではないかと思います。お馴染みの「Ｎゲージ体験コーナー」は大人気！線路を疾走する車両に大喜びの子ども達が印象的でした。科学Ｇの「ジ(THE)転車で GO！」コーナーは、Ｎゲージを早く走らそうと懸命にペタルを踏む子ども達（大人達？）と、疾走する鉄道模型に拍手を送るお客様との一体感に溢れていました。22 階鉄道ジオラマ駅では“きかんしゃトーマスとなかまたち”の楽しい共演。出発に合わせるように鳴り響くＳＬの汽笛、ところ狭しとトーマスを追う子ども達の目は輝いていました。今回も天候に恵まれ、お客様も昨年を上回る 1,865 名と盛大に終了しました。これも関係各所のご協力があればこそです。会場の片付けも無事終わり充実感に溢れた帰路、鉄道に愛着をもつ多くの人たちに支えられながら、今後も鉄道を通して子ども達に夢と希望をプレゼントしていきたいと思います。《瀧田》

キップをパチリ！ハイどうぞ！

今回の鉄道フェスティバルを振り返り･･･

60年前の悲劇を繰り返さないよう･･･。

今回のメインテーマは「鉄道輸送の安全システム」と戦後 60 年特別企画「郡山駅と空襲」でした。私たちがこのテーマをどれだけアピールできたでしょうか？４月 25 日に起きた JR 福知山線脱線事故で失った鉄道輸送の安全信頼を些少でも取り戻そうと、最新の安全装置の紹介パネルや通票閉塞機等を展示しました。また「郡山駅と空襲」コーナーにおいては、２回に渡る大きな空襲で犠牲者がたくさん出たことや、遺体を戸板に乗せて運ぶ兵軍隊列の悲惨さ等の話をしました。実感が無いのか若い方達があまり興味を示すことが少なかったように感じます。現在の経済県都郡山の発展の歴史にはこの空襲、戊辰戦争、伊達と芦名の郡山合戦、南朝・北朝の戦の計４回の大きな戦いがあったことや「交通の要衝」として安全な鉄道輸送がひとつの礎となっていることを忘れてはならないと感じています。《新田》

各地の星まつりに参加してきました　天文ボランティア

第 22 回胎内星まつり（8/26～8/28）新潟県黒川村胎内平にて開催されました。天文Ｇで特に“機材収集マニア”といわれる３人が参加して、歴史の深い星まつりを大いに満喫しました。初日は不安定な天気で雨となってしまい大変な思いをしましたが、それ以降は好天にめぐまれ絶好の星まつりとなりました。

望遠鏡メーカーや販売店の出店がところ狭しと立ち並び、最新機材のデモや格安望遠鏡の販売等々、何度みても飽きることなく･･･。なにせ、“まつり”ですからそれだけではありません！ロケット発射実演や格安オークション、また、夜は柳家小ゑん師匠の星空寄席や、天文ファンから絶大な支持を受けているデュオ、アクアマリンの唄う透きとおるような心地よいメロディが、澄み切った夜空に響き渡りました。最終日には胎内自然天文館の 60㎝ 反射望遠鏡で満天の星空を楽しみました。いやはや郡山にもこの規模の望遠鏡がほしいものです（希望）。今回の宝探しの成果は 12 倍双眼鏡 500 円、7㎝ アクロマート金属鏡筒望遠鏡 3,000 円等。会場には天文ファンの掘り出しモノがごろごろと転がっています。来年は読者の皆さまも是非ご参加ください！

アクアマリンのボーカルSachikoさんとチーズ！

石川町スターライトフェスティバル（9/30～10/2）

石川郡石川町の母畑レークサイドセンターにて開催されました。

仕事そっちのけ（？）で休暇を取り、早速現地へ出かけて私たち天文ボランティアの出店ブース準備に取り掛かりました。期間中は、参加したメンバーも昨年同様、フェスティバル会場にお越しになった皆さんへ、私たちの活動やこのＳ．Ｐ．Ｖつうしんなどを紹介しました。みなさん興味深々･･･。さて、胎内星まつり同様、宝探しですが、少し規模が小さいためか期待していた様な出物があまりありません。でもそこはまつり！探せば必ずあります！22,000 円の 10～30 倍ズーム付き双眼鏡がなんと 500 円也！もちろん箱付き新品！　催しも多彩でした。フラメンコダンスやギター生演奏、それに天文イベントには無くてはならないアクアマリンの昼夜にわたる演奏等々･･･。今回はブース横の芝生にバーベキューコンロを持ち込みお昼にバーベキューなどを堪能することが出来ましたので、主催者の自由な雰囲気にとても感謝しました。夜になると満天の星空に向けブース前に準備していた各自自慢の望遠鏡で星空散策を行い、地元の子ども達がたくさん来場、多くの星座を見せてあげることができました。満天の星の昴（M45)や NGC457 はまるで宝石箱でした。《田辺》

天ボラの知識の泉⑥【今年も火星大接近でした】

た」と思った人は立派な天文ファン？！2003年8月に6万年ぶりの大接近と話題になりましたが、実は2年2ヶ月ごとに地球と火星は接近するのです。今回は2003年ほどではありませんが、約7,000万㎞まで接近しました。宵空に赤く明るく輝いていますので、魅惑の赤い星・火星の姿をぜひご覧ください。

でんきであそんじゃいました！駅前エビスコフェスタ！☆

平成17年11月６日（日）“駅前大通りエビスコフェスタ”に館と合同企画で初参加。このイベントは中心市街地の魅力を高め、郡山駅前の賑わいを取り戻そうと、商店街きらめき21研究会・駅前大通り・大町・中央各商店街の主催で駅前・なかまち・おおまち通りを歩行者天国にして開催された大きなイベントです。私たちＳ.Ｐ.Ｖと館代表チーム、そしてゲストとしてＷＩＺ国際情報工科専門学校さんと東北電力株式会社郡山営業所さんをお招きし、でんきであそぼう！をテーマに楽しんできちゃいました！

コンデンサスパーク！頭もバース飛！
「電気でスパーク！バース飛！」
（内田博士WIZ安藤助手）

静電気の100人おどし！
「静電気であそぼう！」（館選抜チーム）

人力発電！一生懸命！
「ジ(THE)転車でＧＯ！」（科学Ｇ）

「でんきであそぼう！」メニュー

●サイエンスショー：**「電気でスパーク！バース飛！」「静電気で遊ぼう！」**●でんきをつくろう（**発電体験**）：**「風力発電体験（東北電力）」「手回し発電体験ムシバトル（東北電力）」**●でんきの工作：**「電池チェッカー工作（科学Ｇ）」**●でんき体験：**「轟雷！いらいら棒（WIZ校）」**●太陽ってスゴイぞ！：**「太陽観望会（天文Ｇ）」「ソーラー発電パネル（WIZ校）」**

☆ホントは太陽ってスゴイんだよ･･･☆

当日は太陽を観望するため着々と準備を進めた私たち。用意したのは投影板に太陽を映す望遠鏡や白色光太陽望遠鏡。そして水素αフィルターを通してプロミネンスなど躍動する生太陽を見ることのできる太陽専用望遠鏡（初出番）です。ホコ天になった駅前大通りには３本の大筒を並べて出番を待ちました。がっ!?前日の快晴とはうってかわってど～んよりした曇り空。おひさまが顔を出してくれなければ太陽観望はお手上げ。太陽専用望遠鏡には「ただいま太陽はお昼寝中」の張り紙をし、苦肉の策で遠くに見える桜の花の看板に望遠鏡を向け、お客様には季節はずれの晩秋「花見」をしていただきました。見に来て下さった皆さんゴメンナサイ！とうとう太陽は一度も顔を見せることなく終了。次回は快晴になることをただただ祈るばかりです。《捧》

季節外れの情緒の深い花見です。
「太陽観望会」（天文Ｇ）

内田博士の♪俺の話を聞け～ぃ♪①　～科学技術発展のためにも心の余裕を～

「何か質問！」の問いに、「先生！これをやることによって何か得をすることあるんですか･･･」。これって、私の学校でもよくある光景。また「コレは覚えること」には「ハイ」と返ってくるが、「これ考えておくように！」だと「何を？」の返答･･･。『損か得か』『無駄か有益か』のゆえん。“見えやすさ（試験出題等）”のみで判断するあまり、物事の本質をつかむことに対して気が向かない。学生だけの問題にあらず。事実、小４レベルの学力があれば世の中を渡れる。例えば「数学は役に立たない」と思っている大人がいるとしたらそこが一番問題。数学は世の中のいろいろに関わりがあるので「役に立つか立たないか」の見えやすい部分だけで判断するのは危険。考えることを嫌うというより、考える余裕がない現代社会の顕著な現れか。先日、海外に行く機会があり（日常の全てを捨て･･･）、ビーチで寝転がってボーッと空を眺めていると、「先生！昔から気になっていたんだけど、なんで海の水ってしょっぱいんですか!?」と学生から。普段はこのような質問は間違ってもありませぬ。心の余裕こそが、人の創造力や発想を育てるものだなとつくづく痛感。「明日は休みだ～！酒飲みだ～！」これは心に余裕がある証拠。その時こそ「飲む前に（後に？）ちょっと科学！宇宙！」とはいかないだろうか。そしてＳ.Ｐ.Ｖのボランティア活動に足を踏み入れてみちゃったりしても･･･。

科学ショーを楽しむ内田博士

私たちの紙芝居がパワーアップ！　案内サービスボランティア

私たちが紙芝居をはじめてもう1年数ヶ月。会員手作り作品、様々な方からご提供いただいた作品等、ご協力いただいたみなさんのおかげで約30作品が揃いました。この場を借りて御礼申し上げます。各自が18番とする演目も増え、上達を目指しさらにレパートリーを増やそうと、月一回の勉強会を行っています。「そこはこうしたら？」「その言い回しイイね！」みなさんのやる気と前向きな姿には頭が下がります。最近では、お客様に「あらっ、今日は紙芝居もう終わり？午後無いの？」「涙が出ました。ありがとう」などのお声をいただくこともあり、まさに「継続は力」、精一杯心を込めて演じることが大切･･･と日々感じます。「22階展望ロビーに行けば、360°の大展望が楽しめて、紙芝居をいつもやってるよ！楽しいよ！」と言っていただけるよう、そしてたくさんのお客様に足をお運びいただけるように取り組んでいきます！《佐藤サ》

S.P.V　活動情報（～３月）

案内ｻｰﾋﾞｽ　★“昔懐かし”紙芝居　◇平日11：30～、土日祝11：30～、14：30～（約15分）☆随時実演
鉄道ｼﾞｵﾗﾏ　★ジオラマショー案内　◇平日11：00～のみ、土日祝11：00～、15：00～（約20分）
科　　学　★かんたん実験工作ほか：展示ゾーン入館者◇土日祝10：00～16：00
展示ゾーンのみ臨時休館期間：H18・1/16（月）～3/10（金）
天　　文　★駅前観望会　◇H18・３/11（土）　18:30～19:30、その他研修随時（含夜の部）
※科学館休館日及び年末年始特別開館期間中を除く。なお都合により活動が休止となることがありますのでご了承下さい。

～☆スペースパークボランティアまつり☆～

◇H18・３／24（金・夜）25（土）26（日）10:00～予定　場所　22階展望ロビーほか
昨年度初開催で大好評いただいた私たちＳ.Ｐ.Ｖ主催の奇想天外、抱腹絶倒の大イベントを今年度も開催します！紙芝居や昔遊び、実験工作や天体観望会など４グループによる楽しい企画が満載。詳細は次号にて！（写真は宇宙盗賊エスピー男爵）

★『Ｓ.Ｐ.Ｖつうしん』発行予定　第8号 18年3月　第9号 6月　第10号 9月
★Ｓ.Ｐ.Ｖの楽しくてタイムリーなボランティア活動情報をＨＰでお知らせしています。
→ＨＰ　http://www.spacepark.city.koriyama.fukushima.jp
★募集や活動等についてのお問合せはふれあい科学館　TEL 024(936)0201まで

今号のキラ星☆さん　科学ボランティア 官野さん　学生

「ふれあい科学館」については、ずい分前から知ってましたが、「スペースパークボランティアの会」という団体について知ったのは、恥ずかしながらボランティア募集のチラシを手に取った平成16年３月でした。活動当初は右往左往していた私でしたが、諸先輩方の適切なアドバイスやお客様の優しさなどに支えられ、今は“場”を楽しんでいます。まだボランティア活動を始めて１年にも満たない若輩者の私ではありますが「ふれあい科学館」で活動する以上は、“ふれあい”を大切にした接遇を心がけて、これからもボランティア活動を楽しんでいきたいと思う所存です。がんばりマス！

編集あとがき

早いもので、今年ももう師走。この第７号のＳ.Ｐ.Ｖつうしんを皆さまのお手元にお届けすることができて嬉しく思います。今年は野口さんのスペースシャトルによる宇宙飛行や火星の大接近等々、天文グループとしては胸躍らせることが多い一年間でした。宇宙から地球の映像や望遠鏡を通して地球から遠く離れている別の天体が見せてくれるロマンに驚き！感動！の連続体験でした。来年度も皆さんに空に輝く星の数のごとく、たくさんの素敵なこと・幸せなことが降り注ぎますように☆

◇天文　広報部　椎野